

あ お ば

No.84

令和4年7月25日発行
青葉中学校区青少年健全育成推進会事務局
札幌市立青葉中学校 011-891-4351

「子供を叱るな」 青葉中学校区健全育成推進会 会長 唐原 元嗣

日頃より青少年健全育成活動にご協力頂き感謝申し上げます。本年度、会長を務めさせて頂く唐原(とうはら)です。

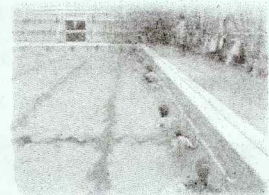
先日ある、人権をテーマに企画ができなかと依頼を受けました。人権という、皆さんは何を思い浮かべますか?ジェンダー平等、民族共生、障がい者差別などをイメージするでしょうか。類似する言葉で道徳もありますが、人権と比べて意味合いは広く解釈は様々です。言葉の持つ先の意味として、人権は全ての人が生まれながらにもつ権利を誰もが侵害できないようにすることを目指し、道徳は良いことを行う、悪いことを行わないというルールを守ることを目指すと仮定すると、スタートは近いのにゴールが離れている気がしました。あなたのためだからと教育熱心になり体罰する。悪いことをしたからといって、飲食を与えない。みんなが楽しくなるための冗談なら、他人を傷つける発言をしても良い。つまり「良かれと思って、悪いことをしたのだから」という道徳的な良識や正義感は、時に人権侵害に繋がりがかねない危うさがあることに気づかされます。永六輔さんの「無名人名語録」に収録されている言葉をご紹介します。「子供叱るな 来た道だ、年寄り笑うな 行く道だ」

皆さんは、いかがですか。小生は、まだまだです。ご指導の程、宜しくお願い致します。

「『久しぶりの夏』を楽しく安全に」

新札幌わかば小学校 教頭 道佛 智志

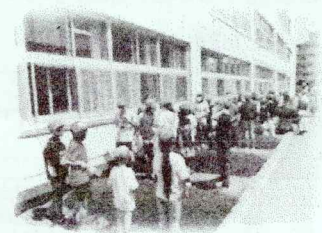
今年の夏は、「いつも通り」とはいかないものの、少しずつ様々な活動がコロナ禍以前に近付いてきています。本校でも、すべての学年で水泳学習を行いました。学習が終わると多くの子どもたちは「楽しかった!」「もっと、やりたい。」と笑顔で友達と話していました。一方で、コロナ禍以前と比べると水に慣れ親しんでいる子が少なくなったのではないかと感じました。思えば、2年前には水泳学習はどの学年も未実施で、昨年になり、やっと短い時間で実施しましたので経験値が足りないのは当然です。



さて、明日からの夏休みでも、コロナ禍以前のように、海水浴やキャンプなど「初めて」行うことや「久しぶりに」行う活動、つまり「経験値が足りていない活動」があるかもしれません。楽しい活動は多くの期待がある一方で、安全への意識が少なくなりかねません。学校でも機会を捉えて具体的に指導していますが、家庭・地域と一体となって子どもたちの安全に対する意識を高め、子どもたちが安心して楽しく毎日を過ごせることを切に願っています。

「温かみのある教育を!」 共栄小学校 教頭 村雲 聖治

先日、ひばりが丘あすなろ認定こども園の園児が、本校に来校し、5年生と一緒に教材園に大根の種を植えました。幼保小連携が叫ばれて久しいのですが、本校としては初の取組です。最初は緊張し表情の硬かった園児たちも、次第に打ち解けて5年生と一緒に、畑にペットボトルを押し付けて、種植え用の穴を開けたり、小さな大根の種をそっと蒔いたりする姿が見られました。



5年生もお兄さん、お姉さんとして園児たちを優しく導く姿が見られ、とても立派でした。

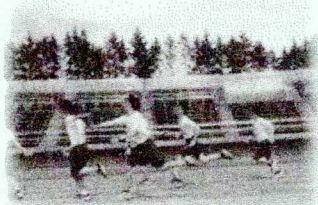
さて、話は変わりますが、昨年から1人1台端末(Chromebook)が配置され、GIGA スクール構想が飛躍的に前進しました。そのことにより、様々な理由で登校できない子どもとも、インターネットを経由して教室と家庭を繋ぐことができるようになりました。この事は、2~3年前には考えられないほどの素晴らしい進歩です。しかし、それだけでよいのかと時々疑問に思うこともあります。教育の営みは、やはり生身の人と人との関係性において成り立つということが原則だと私は考えるからです。

今後も幼保小連携や、小中一貫した教育の実現に向けた取組を進めていきます。GIGA スクール構想のよさを取り入れつつ、前段の幼保小連携の取組で述べたような温かみのある教育を本校では目指していきます。

「初夏の空の下、駆ける」

青葉中学校 教頭 三浦 雅美

去る6月30日本校陸上競技大会が厚別公園陸上競技場で開催されました。昨年は千歳青葉陸上競技場でしたので、現地までの交通とCOVID19の関係で、種目も削減され、従来プログラムでの開催は3年ぶりの開催でした。生徒席での座席間隔の確保や待機時のマスク着用など、感染対策を行いつつ、晴天の下、生徒たちは、トラックでの全員必修100mと選択トラック競技(200、400、800、1500)。さらに、選択フィールド



競技(走幅跳、走高跳、ボール投げ)。そして、青葉中名物全校全員リレーと、一人最低4種目(選択リレー参加者はさらに1種目追加)に参加します。

大規模校では、必修100mにトラック、フィールド種目からひとつ選択の計2種目ですから、本校の陸上競技会は過酷です。しかしながら、どの生徒の顔にも全力で取り組む様子が見られ、来場された多くの保護者の皆様とともに、初夏の一日を目一杯満喫しました。

令和4年度青葉中学校区青少年健全育成推進会 総会報告 事務局より

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から2年連続で書面議決による「青葉中学校区青少年健全育成推進会総会」でした。今年度は、参集対面とGoogle Meetのオンラインによるハイブリット開催となり、会場12名、オンライン1名の参加で開催することができました。

総会の報告として、昨年度の活動及び決算報告、今年度の事業計画案・予算の案について、事務局長より説明があり、それぞれ出席者の承認を得ることができました。また、新役員委嘱についても、唐原新会長からの提案通り承認をいただきました。ここに、参加された皆様へのお礼と、審議への御検討ならびに御承認をいただいたことに感謝申し上げます。ありがとうございます。

審議後の情報交流では、顧問の土田さんから、新型コロナウイルス感染症の対策を行った上で、できる限り地域行事を行う方向で検討する等のお考えを伺いました。また、本校のような学校規模だからこそ実施可能となる学校行事があることで子どもたちの思い出づくりにつながる旨のご意見をいただきました。

本校は、令和9年度に新札幌わかば小学校と統合し義務教育学校となります。

これまで以上に、地域の方々との学校とのつながりを大切にし、義務教育学校がコミュニティ・スクールとしても機能することが求められています。今後とも、青葉中学校区青少年健全育成推進会の活動へのご理解とご協力をお願いいたします。

令和4年度 青葉中学校区青少年健全育成推進会 役員

推進役職	氏名	所属団体及び役職等	推進役職	氏名	所属団体及び役職等
顧問	安島 秀好	厚別南地区青少年育成委員会会長	理事	高平 弥生	青葉町自治連合会女性部長
顧問	土田 義也	青葉町自治連合会会長・青葉中学校学校評議員・地区社会福祉協議会会長	理事	物井 榮美子	青葉中学校学校評議員(保護司会)
顧問	栗生 賢一	厚別南町内会連合会会長	理事	千葉 一晴	青葉地区民生児童委員協議会会長
顧問	梶尾 美加子	新札幌わかば小学校校長	理事	道佛 智志	新札幌わかば小学校教頭
顧問	白戸 裕文	共栄小学校校長	理事	村雲 聖治	共栄小学校教頭
顧問	中山 勝喜	青葉中学校校長	事務局長	三浦 雅美	青葉中学校教頭
会長	唐原 元嗣	青葉中学校PTA会長	事務局次長	鈴木 克明	青葉中学校教諭
副会長	谷内 政昭	新札幌わかば小学校PTA会長	事務局員	中澤 宏佳	青葉中学校教諭
副会長	山本 大輔	共栄小学校PTA会長			
副会長	山口 浩輝	青葉中学校PTA副会長			
副会長	吉川 幸	青葉中学校PTA副会長			
副会長	木村和香枝	青葉中学校PTA副会長			
理事	千葉 千佳	主任児童委員(青葉地区)			
理事	島本 康子	主任児童委員(青葉地区)			
理事	遠藤 聖子	主任児童委員(厚別南地区)			
理事	千葉 保三	厚別南地区青少年育成委員			
理事	橋詰 博	厚別区青少年育成指導員			



青葉中



新札幌
わかば小



共栄小